

問題解決の方法を、学んだことはありますか？

ある問題が生じたとき、多くの人はすぐに解決策を考えます。しかし、原因を捉えた上で解決策を考えなければ十分な効果を得ることができません。そのために必要なのは問題解決のプロセスを知り、固定概念を外すこと。この研修では問題解決の手法を基礎から学び、実践につなげます。

期待される研修効果

問題解決とは、トラブルの解決やクレームの処理だけを指すではありません。売上を伸ばす、働きやすい職場にしていく、若手社員の離職率を抑える、業務を効率化する、なども問題解決の一つであり、論理的かつ創造的に考えることが求められます。この研修では問題解決のプロセスを学び、実践演習を通してスキルアップを目指します。

- 対象者** 新任管理者・管理者・経営幹部・コンサルタントなど
受講人数 4名～16名
基本研修時間 12時間 **リミット時間** 18時間
達成目標 ■問題解決の正しいプロセスを把握している
 ■問題解決のための思考力（論理・創造）を磨き、問題解決を行う基礎技術を習得している



カリキュラム例

※研修目的・時間数・人数などに合わせてカスタマイズいたします。

時間	科目	内容
30min	オリエンテーション ／アイスブレイク	目的を明確にし、研修効果を高めるための意識づけを行ないます。 ◆研修の目的 ◆ビジネススキルの身につけ方
30min	問題とは	問題とは何か、どのような種類や性質があるのかを解説するとともに、原因追及や早期発見の必要性について理解していただきます。 ◆なぜ問題は起きるのか ◆問題を早く解決しなければならない理由
120min ～ 180min	問題解決に必要な 「考える」トレーニング	問題解決には2つの考え方が求められます。一つは固定概念を取りのぞき視点を広くして考えること。もう一つは論理的に考え、根拠を明確にすることです。ここでは演習を通してこれらの考え方を身につけます。 ◆ゼロベースとフレームワーク思考（演習） ◆論理トレーニング（演習）
60min ～ 120min	問題解決の プロセス（過程）	問題解決を行う際に「すぐに解決策を考え始めてしまう」光景が見られます。例えば、残業が多い職場においては「どうすれば残業が減るのか？」という話し合いがなされますが、このプロセスでは効果のない解決策が出ることになってしまうでしょう。闇雲に問題解決を行っても効果はありません。ここでは正しい問題解決のプロセスをしっかりと理解していただきます。 ◆問題解決が正しくできない理由 ◆問題解決のプロセス（演習）
120min ～ 240min	原因を追究する トレーニング	体調が悪くて病院に行くと医師はまず問診や検査で現状把握を行い、問題を発見し、原因を追究してから処置を行ないます。このように正しい問題解決には適切な問題点と原因を見つけることが必要不可欠なのですが、とくに原因を見つけるのは簡単ではありません。ここでは問題把握と原因分析の手法を学ぶとともに、実践的なトレーニングを行います。 ◆問題点を正しく把握する ◆原因を見つける（グループ演習）
120min	解決策を見いだす	原因を突き止めたら、次にそれをどう解決していくのかを考えなくてはなりません。ここではその手法についてケースを用いながら解説します。 ◆解決策を考える（グループ演習）
240min ～ 360min	問題解決 実践トレーニング	学んだ内容を振り返りながら、会社や職場で実際に起きている問題をテーマにした総合演習を行い、問題解決の技術を磨いていきます。 ◆問題解決の総合演習（グループ演習）

※受講者数や演習の進捗状況によって、時間や内容を変更する場合がございます。

※上記カリキュラムを数日間分けて開催することも可能です。（連続した日程でなくとも構いません）

※基本研修時間のみでの研修を実施することや、一部の内容のみを行う研修を実施することも可能です。

■本研修の特徴:「トレーニング」において繰り返し演習を行い、基本技術を理解・習得するまで続けます。
ただし、トレーニング時間のリミット(上限)が設定されています。

研修価格:研修時間・受講者数に関わらず 45 万円(税・交通費別)

■オプション:実際に問題解決を行っている会議等にお伺いし問題解決を実施するためのファシリテーションを行いながら、学びをいかに実践すれば良いのかを体感していただけます。

研修価格:本研修 45 万円+問題解決ファシリテーター派遣1回 9 万円/3 時間(税・交通費別)

「本気の問題解決力向上研修」では、問題解決のプロセスを理解し、問題解決に必要な基礎技術を習得することをゴールとして設定しており、下記のテーマでトレーニングを行います。また、これらのトレーニングは設定された時間によって演習を終了する「時間基準」ではなく、理解された状態の確認によって演習を終了する「理解基準」によって行われます。時間を要しますが、研修効果を高め、実践に結びつけるために必要なプロセスです。

※各トレーニングともに、基本時間と最長時間(リミット)を設けています。本来であれば、リミットを設けずに理解するまでトレーニングを行うべきなのですが、人によって得手不得手が存在し、時間をかけても理解が促進されない場合があります。また、演習を長時間続けることによる負担も大きいいため、各トレーニングにリミットを設けさせていただいておりますことをご承知おきください。
(各受講者の理解達成度については報告書にて報告させていただきます)

【本気の問題解決力向上研修にて行うトレーニング】

■ 問題解決に必要な「考える」トレーニング

問題解決には「論理的思考」と「創造的思考」の2つが必要となります。ここでは、それぞれの思考力を向上するためのトレーニングを行い、問題解決力の基礎を身につけていただけます。

■ 問題解決のプロセストレーニング

問題解決のプロセスを暗記していただき、全員が正しく言えるまで発表を繰り返します。

■ 原因を追究するトレーニング

問題解決のプロセスにおいて、もっとも重要であり、かつ、もっとも難しいのが「原因を発見する」ことです。逆に言えば、この技術を持っていないと効果的な問題解決はできません。ここでは、原因追及の手法を解説しながら、いくつかのケースを用いてくり返し原因追及のトレーニングを行っていきます。



■ 問題解決実践トレーニング

今回の研修で学んだことを総合的に活用し、受講者の組織で実際に問題となっている事項について問題解決を行います。さらに、その問題解決のプロセスと結果に対して、受講者が相互にフィードバックを行い、問題解決のブラッシュアップを行うことで、個々の受講者の問題解決力を向上させていきます。

研修内容・演習内容や料金、カスタマイズの相談など、お気軽にお問合せください。

お問合せアドレス info@be-it.biz